

富田賢が、著書『IoT時代のアライアンス戦略 ～人工知能の進化とマッチング数理モデルの提案～』（白桃書房、2017年4月）にて、日本経営会計学会の学会賞（業績賞）を授与されました。

2017年11月4日に、玉川大学で開催されました日本経営会計学会の第18回全国大会にて、受賞が決まり、表彰を受けました。

なお、日本経営会計学会は、日本学術会議指定協力学術団体です。

★本の内容はこちら：http://www.tcconsulting.co.jp/book_iot



同著書の第2部には、日本経営会計学会のジャーナル『経営会計研究』に掲載された2本の査読論文が収録されており、それも、受賞の理由となりました。

富田としては、この学会賞（業績賞）の受賞を励みに、さらに、研究活動を推進し、学界と実務界をブリッジする役割を果たして参りたいと考えております。